

開発拓殖功勞者頌徳碑

大野村で農業発展に尽くした6人の顕彰碑

●開発（東開発稻荷神社）

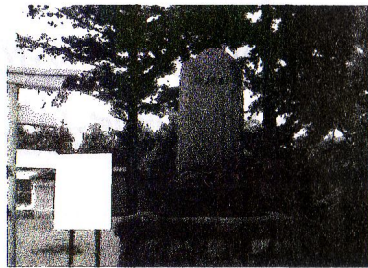
○題字；「開発拓殖功勞者 頌徳碑」

英彦書

高田君萬次郎中村君金兵衛高田君彌五右工門西川君
初藏大村君菊次郎品川君一郎皆は大野村人夙潜思公
共事業之發達欲開擴滾土而増殖村有財産專相地適地
已無矣於是日夜奔走付毀譽得喪度外明治十四年十二
月受俗稱學田三角一帶六十町八段餘之付與仍貸與資
入地者以獎勵其墾成然地固瘠而濕播之菽麥而不登窮
狀逐年甚矣君等憂慮不措乃知更之水田之為利有銳意
所畫策速得政府之助起排水溝開墾之工至明治二十三
年而竣延長實四千八百八十餘間也後無幾而不毛化為美
田惠迨鄉鄰功績何其大哉雖君等已逝而遺澤無窮鄉黨
莫不感激經年思慮益深頃者同志胥謀欲建碑勒功德貞
珉來請文予因記梗概如此

昭和十二年八月
北海道廳長官 正四位勲三等 石黒英彦撰

(説明板及び漢文板あり)



北海道水田発祥之碑

作衛門が拓き米を収穫したとの記録と伝承
で建てる*北斗市文化財指定

●村内（ライスターミナル近く）

○題字；「北海道水田発祥之地」

北海道知事 田中敏文書

水田発祥由來

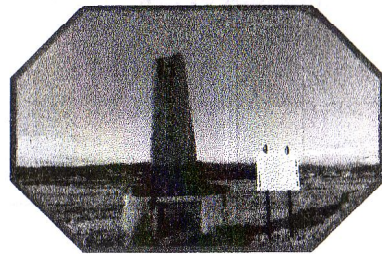
水田發祥由來
龜田郡大野村字文月押上
のこの地に元禄五年農民
作右衛門なる者南部の野
田村から移つて人々の定
着は米にあるとして地を
拓し自然水により四百五
十坪を開田し産米十俵を
収穫した爾來消長あつた
が後御上田と称して現在
に及んでいる先人未踏の
北辺に今日道産米三百万
石の基礎はかうして發祥
したものである

渡島支廳長岡武夫書
昭和二十四年八月建之

(説明板あり)

1989年 大野町文化財指定提起

2008年 北斗市文化財指定



かるた「蝦夷の地に初めて咲かせた稲の花」

いわれの刻まれた

石碑 1

大野地区



清水三四郎碑（草刈後追悼）

◆問い合わせ先；北斗市郷土資料館
041-0112 北斗市本町2丁目12番7号
(0138) 77-6681

大野文化財保護研究会

(略称；文保研・ぶんぽけん)

2010年9月